学校番号	T3010

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	エッセイ・ライティングⅠ	２	第４学年	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅰ（東京書籍）他

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「エッセイ・ライティングⅠ」では「英語コミュニケーションⅠ」「論理・表現Ⅰ」など、これまで学んだ英語の知識・技能を整理し、文法・構文・文章などの学びを進めます。授業では、設定された場面や課題などについて、要約や自分の意見・主張などを論理構成や展開を工夫しながら表現することで特にライティング力の伸長をめざします。読む人へ伝え・伝わることを意識し、書く練習を行います。間違いを恐れず、積極的に活動に参加することが期待されます。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第４学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族・学校など、身近な事について聞き取ることができる。 ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習など、馴染みのない事も聞き取り、概要を理解することができる。	簡単な語や基礎的な表現を使った英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。	日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したこと、思いなどについてやり取りをすることができる。	絵、写真など視覚的補助を利用しながら、進路希望や将来の夢、毎日の学校生活ついて具体的に説明したり、発表することができる。	簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで、日記や説明文などある程度まとまりのある文章を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や基礎的な語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題、特に学校生活や勤務先の話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
１学期	(Unit１ の復習)	聞くこと	a：英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b：各課の会話やスピーチの流れや意味を理解して応答や内容把握が概ねできている。 c：さまざまな応答や内容理解を自らしようとしている。	授業中試験 （リスニング）
	Unit２ １．クラスで ディベート①	読むこと	a：各課の会話やスピーチを読み、概略を理解している。 b：内容を概ね理解し、応答などを導き出すことができる。 c：題材・ターゲットとなる各課の構文や文法事項などをふまえ、読解をすすめようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと (やり取り)	a：各課のターゲットとなる構文などをリピート発話できる。 b：各課のターゲットとなる構文・文法などを用いて概ね応答ができる。 c：各課のターゲットとなる構文・文法などを用いた文などで自分の意見を含め応答できる。	スピーキングテスト
		話すこと (発表)	a：各課の例文・内容を理解している。 b：例文の構文・文法を用いた発表ができる。 c：自分の日常や経験などを発表に組入れて発表しようとしている。	パフォーマンステスト
		書くこと	a：各課のターゲットとなる構文・文法事項などを理解している。 b：各課の構文・文法事項を用いて応用問題に対応しようとしている。 c：各課の構文・文法事項を応用問題の解答に結びつけることが概ねできる。	授業中試験 （ライティング）
	中間考査			

1学期	Unit２ ２．クラスでディベート② ３．経験談のスピーチ	聞くこと	a：英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b：各課の会話やエッセイの流れや意味を理解し、聞き取ろうとしている。 c：構文・文法などを駆使し、総合的に聞き取りを行っている。	授業中試験（リスニング）
		読むこと	a：各課の会話やエッセイの概要を理解できる。 b：内容を理解し、設問や応用問題に対応しようとしている。 c：各課に見られる専門的な語彙・表現を活用し、応用問題に答えようとしている。	定期考査（リーディング）
		話すこと（やり取り）	a：相づちを打ったり、聞き直したりするなど、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを概ね理解している。 b：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文などを用い、その応答が概ねできる。 c：各課のターゲットとなる語彙・構文・文法事項を用い、自分の症状や意図を含め、概ね応答できる。	スピーキングテスト
		話すこと（発表）	a：各課の語彙・例文・内容を概ね理解している。 b：例文を活用した発表を行おうとしている。 c：自分の日常や経験などを発表に組入れ、発表しようとしている。	パフォーマンステスト
		書くこと	a：各課の語彙・構文・表現・文法事項などを概ね理解している。 b：各課のターゲットとなる構文・文法事項などを理解し、自分の考えや気持ちを基本的な語を用いて書く技能を身につけている。 c：各課のターゲットとなる構文・文法事項を用い、考えや気持ちを伝わるよう書こうとしている。	定期考査（ライティング）
	期末考査			
２学期	Unit２ ４．遊びやスポーツを紹介 ５．日本をPR	聞くこと	a： 英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b： さまざまなトピック特有の語彙・構文・表現を理解し、内容に関して概ね聞き取ることができる。 c： 各課のトピックについて学んだことや状況などを総合し、聞き取りを行うことで内容理解の精度を自ら高めようとしている。	授業中試験（リスニング）
		読むこと	a：各課の長文を読み、概略を理解している。 b：内容を概ね理解し、設問の解答を導き出すことができる。 c：題材・ターゲットとなる各課の語彙・構文・表現・文法事項などをふまえ、自ら読解の精度を高めようとしている。	定期考査（リーディング）
		話すこと（やり取り）	a： 相づちを打ったり、聞き直したりする等、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを理解している。 b：各課のターゲットとなる語彙・構文・表現・文法事項などを含んだ文を用い、概ね応答ができる。 c：各課のターゲットとなる語彙・構文・表現・文法事項などをふまえ、自分の意見を含め概ね応答することができる。	スピーキングテスト

		話すこと （発表）	a：各課の語彙・構文・表現などを理解している。 b：各課の語彙・構文・表現などを用いて発表しようとしている。 c：自分の日常や経験などを発表に組入れ、発表しようとしている。	パフォーマンステスト
		書くこと	a：各課のターゲットとなる語彙・構文・表現などを含んだ問題の解答を概ね導き出すことができる。 b：各課のトピックに関する問題・解答を理解し、応用問題に対応しようとしている。 c：各課のトピックに関する表現などを用い、自ら応用問題の解答精度を高めようとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
2学期	Unit２ ６．物事の両面を伝える	聞くこと	a：英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b：各課の語彙・構文・表現などを概ね理解し、リスニングに結びつけて聞き取り内容の把握に役立てている。 c：各課の語彙・構文・表現などを理解し、自らリスニングに結びつけて理解の精度を高めようとしている。	授業中試験 （リスニング）
		読むこと	a：各課の語彙・構文・表現などを含む文を読み、内容を概ね理解している。 b：各課の文法事項を理解し、問題の解答を導き出すことができる。 c：題材・ターゲットとなる各課の文法事項などをふまえ、文意を意識し精読をすすめることができる。	定期考査 （リーディング）
	７．読み手を納得させる	話すこと （やり取り）	a：各課の文法事項などを含んだ文のリピート発話ができる。 b：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文を一部使用し、概ね応答ができる。 c：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文に自分の意見などを含め応答しようとしている。	スピーキングテスト
		話すこと （発表）	a：各課の例文・内容を理解している。 b：各課の例文などを活用し、発表ができる。 c：自分の日常や経験、趣向などを発表に組入れ、発表しようとしている。	パフォーマンステスト
		書くこと	a：相手に謝ったり、許したり、励ましたりするなど各課のトピックに関する語彙･構文･表現などを概ね理解している。 b：各課のトピックに関する語彙・構文・表現などを理解し、自らの気持ち、提案などを表現しようとしている。 c：各課のトピックに関する語彙・構文・表現などをを用い、さらに自らの意見や感想を添えて書き表そうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			

3学期	Unit２ ８．読み手を説得する (Unit２のまとめ)	聞くこと	a：英語の音声の特徴（リズム・イントネーション）を理解している。 b：英字新聞の語彙・構文・表現などを概ね理解し、リスニングに概ね結びつけることで、聞き取り内容の把握に役立てている。 c：英字新聞の語彙・構文・表現などを理解し、自らリスニングに結びつけ、聞き取り内容の把握に役立てている。	授業中試験（リスニング）
		読むこと	a：英字新聞の語彙・構文・表現などを理解し、読んで概ね文意を捉える技能を身に付けている。 b：英字新聞の語彙・構文・表現などを理解し、設問や応用問題に対応しようとしている。 c：英字新聞などの題材やターゲットとなる各課の語彙・構文・表現・文法事項など理解し、自ら読解の精度を高めようとしている。	定期考査（リーディング）
		話すこと（やり取り）	a：各課の文法事項などを含んだトピックのリピート発話ができる。 b：各課のターゲットとなるトピックの文法事項などを含んだ文などを一部使用し、概ね応答ができる。 c：各課のターゲットとなる文法事項などを含んだ文で自分の意見などを含め応答しようとしている。	スピーキングテスト
		話すこと（発表）	a：トピックにある例文・内容を理解している。 b：英字新聞にある例文や言い回しを活用した発表ができる。 c：トピックについて自分の日常や経験などを基にコメントなどを組入れ、発表しようとしている。	パフォーマンステスト
		書くこと	a：英字新聞の語彙・構文・表現などを概ね理解し、これらを用い、書いて伝えようとしている。 b：英字新聞の語彙・構文・表現などを理解し、これらを用いて主張や理由を書いて伝えようとしている。 c：英字新聞の語彙・構文・表現などを用い、自分の感想や意見を表現し、筋道立てて書こうとしている。	定期考査（ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度